

令和6年度「60（ロクマル）プラス」優良実践校 実践報告書

1	実践校名	滝沢市立鶴飼小学校
2	実践名	60（ロクマル）プラス鶴飼プロジェクト
3	実施対象者	全校児童 保護者
4	目標	生活習慣、運動習慣、食習慣を相互に関連付け、分掌を越えた一体的な取組を推進し、児童のよりよい生活習慣の形成を目指す。
5	実践内容	<p>ア (①・②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「60プラス鶴飼プロジェクト」と改称し、既存の取組を一体化して、全校で組織的な取組を実践 ・保健、体力向上、食育担当が分掌連携し、ミニ会議等で組織的な連携
		<p>イ (②・④)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活リズム名人カード」と「60（ロクマル）プラスプロジェクトチャレンジカード」を一体化し、付けたい力を明確にしたチャレンジカードのカスタマイズ ・児童が自らの生活習慣や運動習慣を見直し、工夫する委員会活動の充実
		<p>ウ (⑤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量を可視化するための万歩計の活用 ・長期休業中の情報メディアカードの活用 ・校報や保健だよりでの保護者への発信
6	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌のそれぞれの取組を関連付け、意味付けし、一本化することができた。 ・各委員会の発表、活動を年間計画に位置付け、系統的に進めることができた。 ・万歩計の使用で、活動量を数値化して、取組への意識を高めることができた。
7	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンタイムは、取組中でも守るのが難しい実態があり、家庭の協力を得るための情報提供等の工夫が必要である。 ・委員会活動や事前指導の内容、時期を交換する等、指導がマンネリ化しないようにチーム内で検討しなければならない。 ・万歩計の電池等、継続実施のための必要経費を確保したい。
8	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期、給食委員会の児童朝会における発表。 ・万歩計、次回は中学年使用。 ・来年度の構想、計画をプロジェクトチームや児童の委員会で検討する。

資料 1(ア①・②)



既存の組織・取組を生かし、
ミニ会議で実現する分掌連携

60プラス鵜飼プロジェクト

目次

- 1. 実働開始は、指導主事の来校！
- 2. 分掌連携の重要性
- 3. ミニ会議とは？
- 4. 60プラスプロジェクトの詳細
- 5. 分掌連携を促進するための戦略
- 6. 成果と課題

実働開始は、指導主事の来校！



正直、他分掌のことは「なんかやっているなあ。」程度
担当者は、それぞれ課題意識を持ち、自分の分掌の中で取組をしており
ました。しかし、他分掌で担当している事業は、よほど注目しない限り、「そ
ういえば、こういうのやっているようだけど、詳しくはわからない。連携すれ
ばもっといい活動ができるのだからうけれど・・・。」と、いうのが本音です
よね。60プラスもそうでした。



指導主事が来校 各分掌担当に集合命令が！
運動・食育・保健担当が集まり、校長室で改めて60プラスについて説明
を受けました。各分掌で行っていることを挙げ、分掌連携によって統一でき
ることを考えました。健康課題の一つに、就業時間が遅いこと、それには、
メディアとの付き合い方が関係していることもあげられました。

実は、学校保健委員会でも・・・

アフターコロナ
このように育ってほしいな

「子供らしい生活を！」
学校医さんも参加で、今後、子供
たちに体験してもらいたいこと、こ
のように生活してほしいなどの意見
を委員の皆さんから出していただき
ました。この後押しもあり、
『60プラス 鵜飼プロジェクト』
がスタートしました。



分掌連携の重要性

組織の縦割り構造が もたらす問題点

1. 情報の断絶
2. マンネ化
3. ニーズへの
対応遅れ

分掌間で必要な情報が共有されず、内容
や時期が重複したり、連続的な指導がで
きなかったりする可能性がある。

異なる視点や改善点の発見が難しく、
従来の活動になりがちである。

児童や保護者のニーズの取り上げと
取組への移行が難しい。

分掌連携の利点

1. 業務効率の向上
2. 創造性の促進
3. ニーズ把握促進

重複の削減と活動時間及び内
容の最適化ができる。

多様な知識と経験の融合によ
る改善ができる。

一人担当ではなくなることに
よりニーズ等の情報窓口が広
がる。

「おもしろそうだな。やって良かったな。」と思える内容に。

ミニ会議とは？

ミニ会議：各担当と教務主任で時期内容を検討

分掌部会も時間確保が難しい日々ですが、会場を保健室
にし、20～30分の目標時間で、**体力向上、食育、保健
担当が集まり、さらに教務主任**にも参加してもらいました。

話し合われたこと

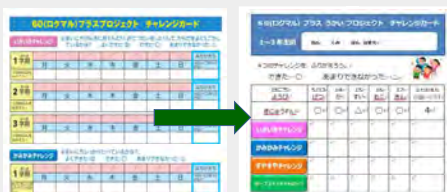
1. チャレンジカード ・年間通しての使用から1回ごとに変更
・メディア項目追加
2. **事前指導**の徹底
3. 運動・給食・保健委員会の活動内容に**関連付ける**
4. 体力向上 ・児童会担当事業の連携検討
5. **万歩計**を使用できるかの検討
6. 取組内容を**家庭**にどう広げていくかの検討



60プラス 鵜飼プロジェクトの詳細

1 カードの変更

記入が難しい。
↓
1回に1枚使用とした。



前回の様子分かるように、5月分返却を8月分配付時にした。

60プラス鵜飼プロジェクト 年間計画

	60プラス	担当者	学校	運動委員会	保健委員会	給食委員会	児童会
前年度		プロジェクト 発足会議	学校保健委員会 「アフターコロナ 子どもらしい生活を」				
4月		ミニ会議	重点項目に位置付け				
5月	1回目		学級事前指導 体力アップ週間	児童朝会発表 運動の効果		日替わり昼放送	
6月			食育指導				
7月		ミニ会議					情報メディアカード
8月	2回目 5・6年万歩計				日替わり昼放送	児童朝会発表 睡眠の効果	
9月							
10月							
11月							
12月		ミニ会議					各担当発表会に 情報メディア位置付け
1月	3回目 3・4年万歩計				日替わり昼放送	児童朝会発表 テーマ検討中	
2月							
3月							

※ 来年度の万歩計使用は、1回目5・6年、2回目3・4年、3回目1・2年の予定。

資料 2-1(イ②・④)

60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

1

カードの変更
メディア項目を追加



従来の3項目から4項目へ



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

2

事前指導

各分掌から学級指導のための資料を作成し実施してもらった



教師用プリント配付、Teamsでデータ共有

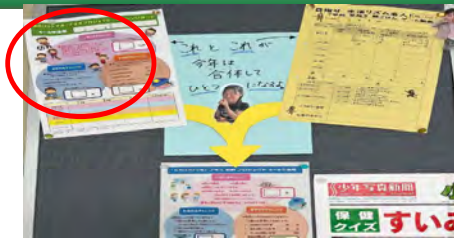


60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

2

事前指導

保健室前のスペースに児童を連れてきて、掲示を使いながら指導することも可能



保健室前の掲示



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

3

委員会活動
運動委員会



1回目実施時期(5月)に運動の効果について児童朝会で発表



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

3

委員会活動
給食委員会



1回目実施時期(5月)に「かむこと」「朝食」「栄養バランス」について放送



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

3

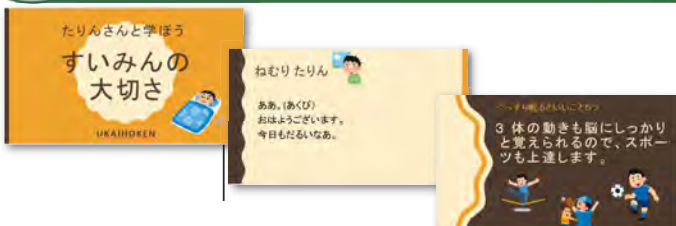
委員会活動
保健委員会



2回目実施時期(8月)に睡眠の効果について、児童朝会で発表



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細



時間がない! 練習日たった1日 個別にスライドに録音



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

4

5月の体力アップ週間

5分間音楽を流し、2学年ごと業間と昼休みに分けて5分間走をする。



体力向上担当事業 5月 各学年のマラソンカードに記入

60(ロクマル) プラス 鶴飼 プロジェクト 5～6年生用

いきいきチャレンジ

あなたの1日の目標は?

- 歩いて登校
- 元気に遊ぶ
- 時間いっぱいそらじをする
- お手伝いをする
- スポーツをする

1日60分以上を目指しましょう。
体育の時間も入れていいですよ。

業間と昼休みに体を動かすと、それだけで40分!

分

かみかみチャレンジ

■毎日しっかり食べていますか？
一つ選んで挑戦してみましょう。

- ① よくかんで食べる (目安は一口20回です。)
- ② 朝ごはんを毎日食べる
- ③ 栄養のバランスを考えて食べる。

あなたが選んだ番号は？

番

すやすやチャレンジ

■毎日ぐっすりねむれていますか？
一つ選んで挑戦してみましょう。

- ① ねる時こくの目標 時 分
- ② 起きる時こくの目標 時 分
- ③ すいみん時間の目標 時間

あなたが選んだ番号は？

番

セーブメディアチャレンジ

■メディアからならなれて、「かぞくの時間」と「目」をたいてつに。
ゲームとインターネットの時間を、おうちのかたときめましょう。

あなたが決めた時間は？

時間まで

「メディアのかわりにこんなことをしました。」と、いうことがある人は、書いてください。
その時の気持ちも教えてくれるとうれしいです。

60(ロクマル) プラス 鶴飼 プロジェクト チャレンジカード

5～6年生用

年 組 番 名前



4つのチャレンジを、ふり返ろう。

できた…○ あまりできなかった…△

日	8/26	27	28	29	30	ふり返り ○はいくつ?
曜 日	月	火	水	木	金	
記入例	○	○	△	○	○	4
いきいきチャレンジ						
万歩計の歩数を書こう	歩	歩	歩	歩	歩	1日平均
かみかみチャレンジ						
すやすやチャレンジ						
セーブメディアチャレンジ						

ふり返り

お家の方から

資料 3-1(ウ⑤)

60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

4

情報メディアカード

夏休み中の情報メディアとの付き合い方を家庭でルールを決める。3～6年対象。

児童会企画 夏休み実施



60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

5

万歩計活用

助成金で2学年分の個数を購入。初回は5・6年生が使用。



朝起きてから寝るまでの歩数を60プラスのカードに記入



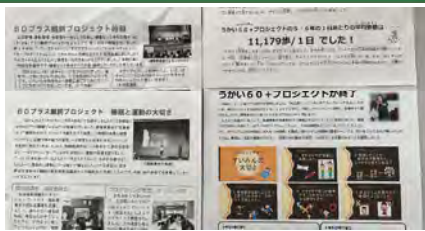
60プラス 鶏飼プロジェクトの詳細

5

家庭への発信

学校通信、保健だよりで集計結果や感想を紹介。

簡潔に ポイントをわかりやすく載せた



分掌連携を促進する戦略

1

トップの明確な方針

担当者を集めるのも、全体を動かすのも、校長が「本年度の重点項目」と位置付けると、実現する。

2

プロジェクトチーム結成

異なる分掌のメンバーで構成されるプロジェクトチームを結成。多様な視点と分野の知識を組み合わせることで、新しいアイデアと総合的なアプローチを実現。分掌の相互理解も深まる。

3

情報共有の仕組み作り

60プラスで得られた情報は、共有データに集計結果や、PDFで個々のカードを保存し、職員がアクセスしやすい環境を作っている。

4

定期的なミニ会議

実施前の定期ミニ会議を開催し、次回企画する内容の相互理解と、課題についての意見交換をする。教務主任が加わることで、全体でのバランスを考えた計画にすることができる。



成果と課題

成果

- 分掌間の壁が低くなり、情報共有と協力が促進され、業務の効率化が進む。
- 重複作業の削減や資源の最適配分が実現する。
- 対象である児童・保護者にとって取り組みやすい環境が整う。



成果と課題

課題

- それにしても時間がなさすぎる！担当者が集まるだけでもやはり大変。学校の重点項目から外れたら・・・
- 2年目のマンネリ感をどう回避できるか。継続するモチベーションを高める仕組み。対象に「やって良かった。」と実感してもらえる仕組みづくり。
- 万歩計のコストに関する問題。



